平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　文化シヤッター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5930　URL　http://www.bunka-s.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂木　哲哉
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 西村　浩一　TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日　平成25年8月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,993	4.7	725	△16.2	672	△12.8	179	△0.9
25年3月期第1四半期	23,861	15.4	866	―	771	―	181	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　549百万円　(593.6%)　25年3月期第1四半期　79百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.68	―
25年3月期第1四半期	2.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	96,577	41,978	43.5
25年3月期	95,684	39,278	41.0

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　41,978百万円　25年3月期　39,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	4.00	―	6.00	10.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,000	7.4	2,600	33.7	2,800	30.7	1,800	43.2	25.37
通期	120,000	6.3	7,000	26.9	7,900	16.5	6,000	△10.9	84.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	72,196,487 株	25年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,239,465 株	25年3月期	6,487,486 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	67,020,343 株	25年3月期1Q	65,716,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による新たな経済・金融政策への期待感から円安や株価の上昇が進行する一方、欧州債務危機問題の長期化、新興国経済成長率の鈍化、円安による輸入価格の上昇など国内景気の押し下げ要因もあり、景気回復への明るい兆しが見え始めたものの、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況下におきまして、当第１四半期連結累計期間の売上高は、24,993百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。利益面におきましては、販売数量の増加及び利益率の向上に向けて当社グループ（当社及び当社の関係会社）一丸となって取り組むとともに、ＢＸＴＣＲ（BX Total Cost Reduction）活動を継続し、当社グループの全部門において企業コストの低減を推し進めましたが、営業利益は725百万円（前年同四半期比16.2%減）、経常利益は672百万円（前年同四半期比12.8%減）、四半期純利益は179百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

１．シャッター関連製品事業

商業施設や工場・物流施設向けの重量シャッター、電源を必要としない機械式危害防止装置「エコセーフ」をはじめとした安全対策商品が堅調に推移しました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は10,076百万円（前年同四半期比8.5%増）となりましたが、営業利益は1,052百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

２．建材関連製品事業

大規模施設及び集合住宅向けのドア、パーティション等が好調に推移しました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は8,497百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、営業利益44百万円（前年同四半期は営業損失75百万円）となりました。

３．サービス事業

修理・メンテナンス対応が低調に推移しました結果、連結子会社文化シヤッターサービス株式会社を中心に、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,228百万円（前年同四半期比3.0%減）となり、営業利益は139百万円（前年同四半期比47.2%減）となりました。

４．リフォーム事業

競争が激化しているリフォーム業界ながら、定額パッケージ商品の拡充やリピートオーダーを頂くための取り組みを推し進めました結果、連結子会社ゆとりフォーム株式会社を中心に、当第１四半期連結累計期間の売上高は2,469百万円（前年同四半期比7.9%増）となり、営業利益は116百万円（前年同四半期比115.6%増）となりました。

５．その他

平成23年に参入しました太陽光発電システム事業及び平成24年に参入しました止水事業が堅調に推移しました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は721百万円（前年同四半期比23.5%増）となり、営業利益2百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は96,577百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円増加しました。流動資産は62,803百万円となり、791百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少（4,898百万円）した一方で、現金及び預金が増加（3,310百万円）、商品及び製品が増加（1,525百万円）したことが主な要因であります。固定資産は33,774百万円となり、101百万円増加しました。これは、貸倒引当金が減少（44百万円）したことが主な要因であります。

当第１四半期連結会計期間末の負債は54,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,807百万円減少しました。流動負債は35,323百万円となり、1,723百万円減少しました。これは、短期借入金が増加（1,100百万円）した一方で、未払法人税等が減少（1,262百万円）、支払手形及び買掛金が減少（1,149百万円）したことが主な要因であります。固定負債は19,274百万円となり、84百万円減少しました。これは、退職給付引当金が増加（69百万円）した一方で、長期借入金が減少（200百万円）したことが主な要因であります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産は41,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,700百万円増加しました。これは、配当金の支払い（394百万円）により減少した一方で、四半期純利益の計上（179百万円）により増加したこと、自己株式5,250,000株の処分により資本剰余金が増加（995百万円）及び自己株式が減少（1,550百万円）したこと、その他有価証券評価差額金が増加（327百万円）したことが主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月15日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,113	19,424
受取手形及び売掛金	30,637	25,738
商品及び製品	8,355	9,880
仕掛品	755	828
原材料及び貯蔵品	2,620	2,735
その他	3,736	4,370
貸倒引当金	△207	△175
流動資産合計	62,011	62,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,378	6,316
土地	8,495	8,495
その他（純額）	2,703	2,838
有形固定資産合計	17,577	17,650
無形固定資産		
のれん	244	228
その他	726	720
無形固定資産合計	971	949
投資その他の資産		
投資有価証券	8,479	8,323
その他	7,509	7,671
貸倒引当金	△864	△820
投資その他の資産合計	15,124	15,174
固定資産合計	33,672	33,774
資産合計	95,684	96,577

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,692	20,542
短期借入金	1,800	2,900
未払法人税等	2,400	1,137
賞与引当金	2,353	1,360
役員賞与引当金	122	29
工事損失引当金	120	97
その他	8,557	9,256
流動負債合計	37,046	35,323
固定負債		
社債	120	120
長期借入金	1,280	1,080
退職給付引当金	16,328	16,398
役員退職慰労引当金	492	494
資産除去債務	47	47
その他	1,090	1,134
固定負債合計	19,359	19,274
負債合計	56,406	54,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,159	12,155
利益剰余金	13,424	13,209
自己株式	△1,914	△364
株主資本合計	37,721	40,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472	1,799
土地再評価差額金	13	13
為替換算調整勘定	70	113
その他の包括利益累計額合計	1,557	1,926
純資産合計	39,278	41,978
負債純資産合計	95,684	96,577

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	23,861	24,993
売上原価	17,192	18,132
売上総利益	6,668	6,861
販売費及び一般管理費	5,802	6,135
営業利益	866	725
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	85	87
負ののれん償却額	2	―
助成金収入	1	0
貸倒引当金戻入額	48	47
その他	68	63
営業外収益合計	208	203
営業外費用		
支払利息	29	17
持分法による投資損失	240	206
その他	33	32
営業外費用合計	303	257
経常利益	771	672
特別利益		
固定資産売却益	91	―
特別利益合計	91	―
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	860	671
法人税等	679	491
少数株主損益調整前四半期純利益	181	179
四半期純利益	181	179

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	181	179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△190	298
為替換算調整勘定	24	34
持分法適用会社に対する持分相当額	63	37
その他の包括利益合計	△101	369
四半期包括利益	79	549
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	549
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年６月３日開催の取締役会決議に基づき、平成25年６月18日付で公募による自己株式5,250,000株の処分を行いました。この結果、当第１四半期連結累計期間において資本剰余金が995百万円増加、自己株式が1,550百万円減少し、当第１四半期連結会計期間末において資本剰余金が12,155百万円、自己株式が364百万円となっております。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,289	8,370	3,328	2,288	23,277	584	23,861	－	23,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	622	0	165	0	789	20	809	△809	－
計	9,911	8,371	3,494	2,289	24,066	604	24,670	△809	23,861
セグメント利益又は損失（△）	1,223	△75	263	54	1,465	△9	1,456	△590	866

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△590百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△585百万円、棚卸資産の調整額△４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第１四半期連結累計期間において、鐵矢工業株式会社の株式を取得し、同社及びその子会社である東北鐵矢工業株式会社を連結の範囲に含めており、「建材関連製品事業」セグメントに区分しております。なお、当該事象によるのれんの増加額（償却前）は、当第１四半期連結累計期間においては304百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,076	8,497	3,228	2,469	24,272	721	24,993	―	24,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	625	4	169	0	800	25	826	△826	―
計	10,701	8,502	3,398	2,470	25,073	747	25,820	△826	24,993
セグメント利益	1,052	44	139	116	1,352	2	1,355	△629	725

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△629百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△626百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。